

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	所沢市役所		代表者名	課長 井上 大樹	
担当者部署	経営企画部デジタル戦略課		連絡先電話番号	04-2998-9036	
担当者役職	主任	担当者氏名	大場 芳恵	連絡先E-mail	*****
住所	359-8501 埼玉県所沢市並木1-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	①～④まで2日目（6/13実施）と同様 ⑤研修後、受講生が所属長などに研修内容（ムーンショットとバックキャストリングなど）を嬉々として説明する様子があった（当該所属の職員より伺った話）。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年6月14日	講演(実地)	有	令和5年5月17日	644
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年6月14日	講演（実地）	9時00分	16時00分	60
				活動時間（分）	360
3-2. 派遣場所	会場名	所沢市役所	最寄駅	西武新宿線 航空公園駅	
	所在地	所沢市並木1-1-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	17人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	受講者がDXの必要性を肌身に感じ、DXの考え方を体験できる研修が、市のDX推進主管課だけでは行えなかった。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	研修を通して、受講者がDXの必要性を肌身に感じ、DXの考え方を体験できる。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・座学（DXの必要性理解／当市総合計画とDX／DXが進む考え方／ムーンショットとバックキャストリング） ・個人ワーク（不平不満を書き出す） ・グループワーク（不平不満の共有／バックキャストリングの実践／ムーンショットとバックキャストリングを踏まえた2025年目標の作成・発表）	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	受講者がDXの必要性を肌身に感じ、DXの考え方を体験できる研修が行えた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 人材育成研修が実施できた。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート回答期限が本報告書提出期限より後のため、掲載不可。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	組織全体で以下を目指す。 ・DXの共通理解、必要性の理解 / ・DX推進が進む組織風土づくり	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

